



平和 の 祭典

心 あ っ た か ニ ュ ー ス

NMCAA
NO3

オリンピックの感動が覚めません。選手の情熱と努力がうかがえたり、その先にある選手の友情に、胸が熱くなりました。オリンピックの起源は、2500年以上前の「ギリシア祭典競技」にあります。開催期間中、戦争などすべての争いがと休止となるほど、当時の人々にとって神聖なものということです。

近代オリンピックの創始は、残念なことですが、平和とは逆の世の中が背景にあったためです。スポーツで健全な心と体を育成し、世界中の人々が交流できれば、平和な世の中を実現出来るかも知れない。そんな願いから生まれたそうです。また東京オリンピックの日本選手団の団長をつとめた、大島鎌吉さんについて、フジテレビのアンビリバボーで「オリンピックをつくった男」で放送したようですので、ご紹介します。大島鎌吉さんは東京オリンピック選手強化対策本部副本部長に就任、選手強化の全てを任せ

ました。当時、オリンピックの招致活動を行っていた団体が、横領事件を起こすという大波乱のなか、日本の再出発のために力を貸して欲しいと、オリンピックのメダリストたちに声を掛け、信頼回復をはかりました。また、1カ月をかけて東京ヨーロッパの招致活動をして、やっと思いで東京招致へこぎつけます。それまでの多大な実績が認められ東京オリンピックを率いることになりました。大島さんが手がけたことは、科学的トレーニングと強いだけではない、オリンピックに相応しい選手の育成でした。なぜなら彼は、1932年のロサンゼルス大会で初めてオリンピックに出場し銅メダルを獲得した時、最も感銘を受けたのが近代オリンピックの理念だったからです。

彼が晩年、日本オリンピック委員会に対し強く抗議したことがります。1979年、ソ連のアフガニスタン侵攻を理由に、日本がモスクワオリンピックへのボイコットを決めたことに対してです。大会に参加すべきだと、先頭に立って強く主張します。紛争が起こっているときだからこそ、オリンピックという平和の祭典で選手たちが交流することを阻害すべきではない。平和への道を歩むために、ボイコットを反対したそうです。平和のための

スポーツが日本中に広がり根付いていくことを願った人がいたことで、今回のオリンピックが、あつて、それは、オリンピックの理念、平和の思いが受け継がれているからだということがわかりました。

編集後記

平和を願い、継承していく人がいることで、成り立っているものがありました。いつも、私達は想いというバトンをやりとりしているのかもしれない。いつも、ことを動かすものは、熱い想いでしかないのです。オリンピックの始まりから、人の思いから始まっています。このバトンを次の世代にしっかりと渡していくことが、私達にたくさると思いを残すことだと思えました。